

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年7月1日 (2010.7.1)

【公表番号】特表2009-539145(P2009-539145A)
 【公表日】平成21年11月12日 (2009.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報2009-045
 【出願番号】特願2009-513366(P2009-513366)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 F 1/13357

【手続補正書】
 【提出日】平成22年5月12日 (2010.5.12)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光配向フィルムであって、
 第 1 の主面と、
 少なくとも 2 つの周期的な微細構造パターンを有する、微細構造化された第 2 の主面と
 、を含んでおり、

前記少なくとも 2 つの周期的な微細構造パターンのうちの第 1 の微細構造パターンは、
 第 1 の周期で第 1 の方向に沿って配置されており、前記少なくとも 2 つの周期的な微細構
 造パターンのうちの第 2 の微細構造パターンは、前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向に
 沿って第 2 の周期で配置されており、前記微細構造化された第 2 の主面は、前記第 1 及び
 第 2 の方向とは異なる第 3 の方向に沿って延びる複数の直線状ブリズム、を含んでいる、
 光配向フィルム。

【請求項 2】

第 1 の主面と第 2 の主面とを含む光配向フィルムであって、前記第 2 の主面は、1 次元
 の周期的な微細構造パターン上に重ね合わされた 2 次元の微細構造パターンを有する、光
 配向フィルム。

【請求項 3】

前記 1 次元及び 2 次元パターンにおける各微細構造は、ピークと、該ピークから前記第
 1 の主面と前記第 2 の主面との間に配置された共通の基準面まで測定されるピーク高さ
 とを有しており、前記 1 次元の周期的な微細構造パターンにおける微細構造の前記高さは、
 前記 2 次元の微細構造パターンにおける微細構造の前記高さとは異なる、請求項 2 に記載
 の光配向フィルム。